

2026年6月12日
 日本株

 りそなホールディングス 市場企画部
 ストラテジスト 武居 大暉、渋谷 和樹

日米欧 Market View: 日本株需給(6/1~6/5)と Weekly データ集

海外は2週連続の売越し(現先合計)

要約

- ▶ 主体別売買動向によると、6/1~6/5にかけて海外は現先合計で約5,900億円の売越し(2週連続)。個人は約3,100億円の買越し(2週連続)。GPIFの売買動向と連動する信託銀行は約300億円の売越し(2週ぶり)。企業の自社株買いを反映する事法は約3,600億円の買越し(4週連続)(図表1)。GPIFによる日本株の買い余地は約5,900億円と推計(図表1)
- ▶ 今後1週間程度の日経平均株価の想定レンジは63,500円~67,500円。内需企業の押し目買いを推奨する。また、日本株はファンダメンタルズに基づく26年末想定レンジの下限近辺。将来のファンダメンタルズや資本効率性の改善を考慮すると、中期では上昇余地が大きいとみる
- ▶ 事業法人の高水準の自社株買いが継続。足元で5兆円程度の買い余地があらう

海外は2週連続の売越し(現先合計)

主体別売買動向によると、6/1~6/5にかけて海外は現先合計で約5,900億円の売越し(2週連続)。個人は約3,100億円の買越し(2週連続)。GPIFの売買動向と連動する信託銀行は約300億円の売越し(2週ぶり)。企業の自社株買いを反映する事法は約3,600億円の買越し(4週連続)(図表1)。GPIFによる日本株の買い余地は約5,900億円と推計(図表1)。

同期間のTOPIXは小幅に下落した。週初は、前週末の米株高を背景に半導体関連株が好調な一方で多くの業種では売りが優勢となり、次第に短期的な過熱警戒感などからAI・半導体関連にも売りが広がった。一方で水曜日には日本株が大きく反発した場面も見られたが、米半導体大手ブロードコム決算を嫌気した売りをきっかけに市場センチメントが悪化し、木曜日は前日の急反発の反動も相俟って日本株は大幅反落した。週末金曜日朝方は売りが先行したが、売り一巡後はバリュー株を中心に買いが入り、後場にかけては下げ渋った。

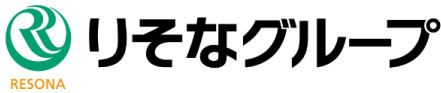
海外勢は、先週に引き続き高値警戒感や中東情勢の不透明感を意識し、日本株を売越したとみられる。一方、逆張り志向の強い個人は、週初の下落局面において押し目買いの動きが大きくなった。事業法人は自社株買いの動きが継続し、日本株を下支えした。

足元の投資家センチメントを確認すると、信用倍率(6/5申込現在)は7.5倍と前週比上昇。信用買い残は増加、信用売り残は減少。また、6/11時点の空売り比率(20日MA)は39.4%と前週比上昇、日経VIは38.2ptと前週比上昇(図表2~9)。中東情勢の鎮静化の不安定化懸念から投資家はリスク回避姿勢を強めた。足元は再び鎮静化期待が高まっているが、中東情勢を巡っては不確実性が大きく、ボラタイルな相場展開が予想される。日本株は、ここもとの調整で過熱感が薄れつつあり、妥当レンジの範囲内にある。決算も一巡し、来週は中銀ウィークとも重なるので、様子見姿勢から横ばい圏で推移しよう。今後一週間程度の日経平均株価の想定レンジは63,500円~67,500円。

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



図表1：主体別売買動向

| 単位：10億円 | 先物(海外) | | | 現物 | | | | | | 指数 |
|-----------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|-------|--------|--------|------------|
| | 合計 | TOPIX型 | 日経型 | 海外 | 個人 | 法人 | | | | TOPIX (pt) |
| | | | | | | 投資信託 | 事法 | 金融機関 | | |
| | | | 生損保+銀行 | 信託 | | | | | | |
| 2026/5/9 | -85.3 | -217.6 | 130.2 | 1,235.1 | -497.9 | -272.7 | -75.2 | -36.9 | -52.1 | 3,829.5 |
| 2026/5/16 | -751.4 | -357.3 | -390.4 | 557.3 | 172.0 | 29.7 | 212.9 | -158.8 | -242.1 | 3,864.0 |
| 2026/5/23 | -41.8 | -120.9 | 81.5 | 460.9 | -140.3 | 38.4 | 277.4 | -130.5 | -210.4 | 3,892.5 |
| 2026/5/30 | -27.7 | -598.1 | 567.2 | -395.3 | 105.7 | 193.0 | 419.5 | -131.4 | 70.8 | 3,957.2 |
| 2026/6/6 | -512.4 | -123.4 | -388.1 | -81.0 | 308.1 | 36.3 | 359.2 | -66.1 | -31.0 | 3,951.9 |

■ GPIFの保有国内株式割合を仮に25%にするとした場合に必要の売買額の推計

| | 2026/06/12 時点の必要の売買額 | 25年12月末以降の信託銀行 の累積売買金額 | 差し引き |
|--------------------------------------|-------------------------|---------------------------|---------|
| 保有国内株式割合を仮に25%にする とした場合に必要の売買額の推計 | -4.50 兆円 | -5.09 兆円 | 0.59 兆円 |

出所：QUICK, Bloomberg

図表2：信用取引及びボラティリティ関連指標

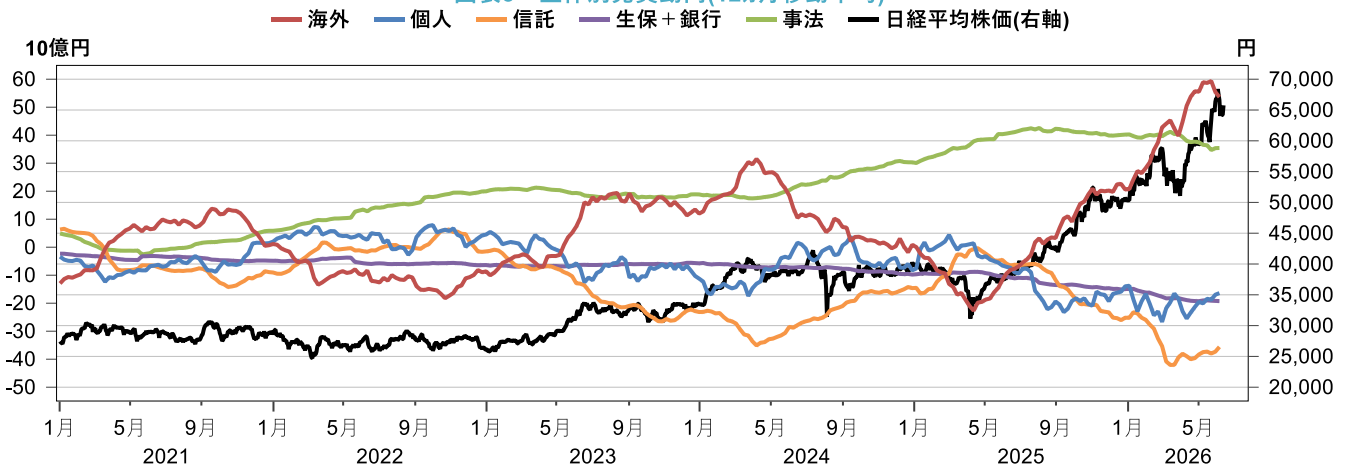
| | 信用取引関連指標 | | | | ボラティリティ関連指標 | | | | |
|-----------|-------------------------|---------------|-------|------------------|-------------|------------------------|---------------------|-------------------|--------------------|
| | 信用倍率 (信用買残/ 信用売残) | 信用取引現在高(10億円) | | 空売り比率 (20日MA) | 日経VI | 日経オプションのインプライド・ボラティリティ | | | |
| | | 信用買残 | 信用売残 | | | 1M 25 Delta Put | 1M 25 Delta Call | 1M 5 Delta Put | 1M 5 Delta Call |
| 2026/3/9 | 5.8 | 5,718.1 | 979.4 | 37.9 | 57.0 | 49.9 | 39.9 | 79.2 | 35.6 |
| 2026/5/21 | 6.8 | 6,011.4 | 879.0 | 39.7 | 28.0 | 31.6 | 26.4 | 43.5 | 26.2 |
| 2026/5/28 | 6.7 | 6,079.3 | 912.8 | 39.4 | 27.0 | 33.0 | 27.7 | 44.5 | 28.0 |
| 2026/6/4 | 7.1 | 6,391.5 | 902.8 | 39.0 | 29.5 | 32.6 | 27.1 | 44.7 | 28.0 |
| 2026/6/11 | 7.5 | 6,695.9 | 888.3 | 39.4 | 38.2 | 37.5 | 30.7 | 52.4 | 30.0 |

■ 差分

| | | | | | | | | | |
|--------------------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|------|-------|------|
| vs 3/9(中東情勢懸念のピーク) | 1.7 | 977.7 | -91.1 | 1.5 | -18.8 | -12.4 | -9.2 | -26.9 | -5.6 |
| vs 前週 | 0.5 | 304.3 | -14.5 | 0.4 | 8.8 | 4.8 | 3.6 | 7.7 | 2.1 |

出所：Bloomberg

図表3：主体別売買動向(12ヵ月移動平均)



出所：Bloomberg、マクロボンド

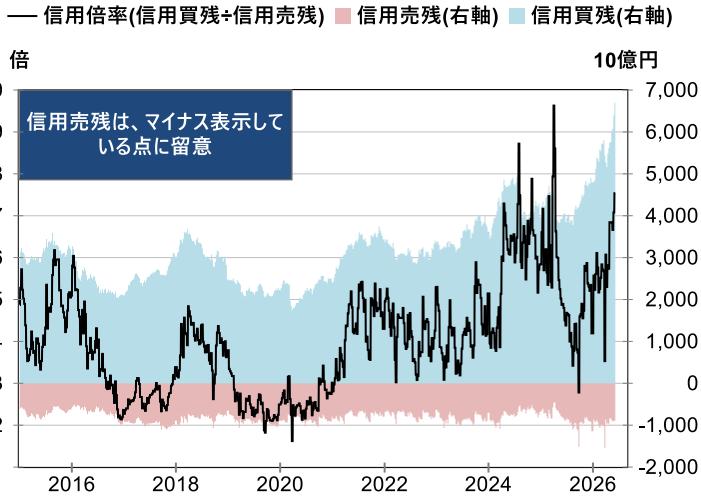
◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

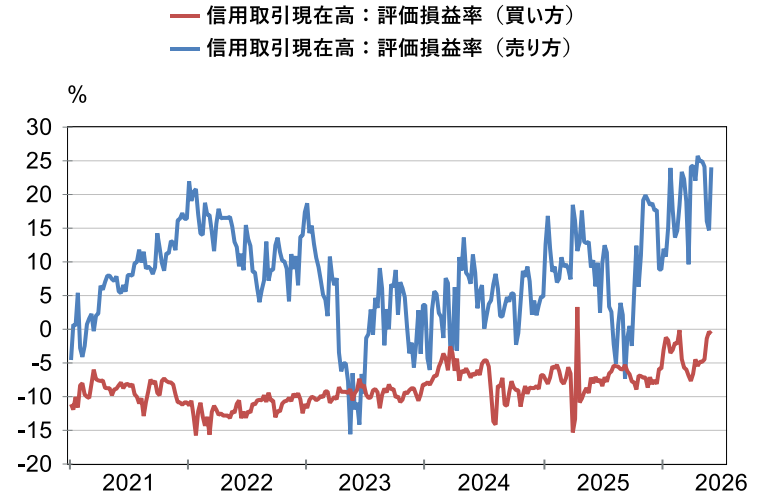
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



図表4：信用残高と信用倍率



図表5：日経平均株価と空売り比率

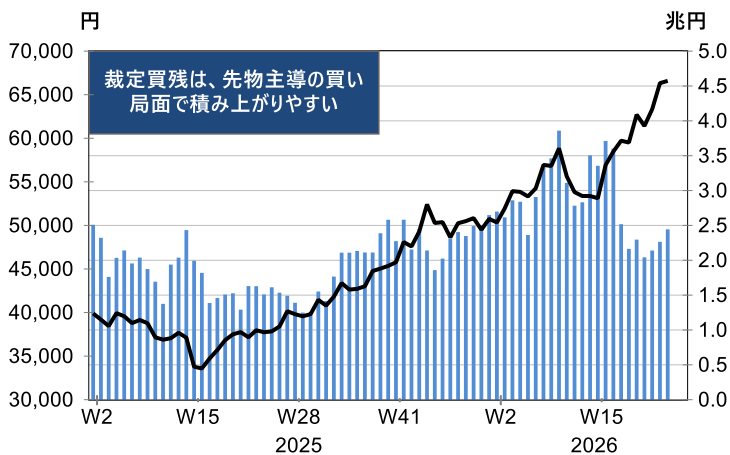


出所：Bloomberg、マクロポンド

出所：Bloomberg、マクロポンド

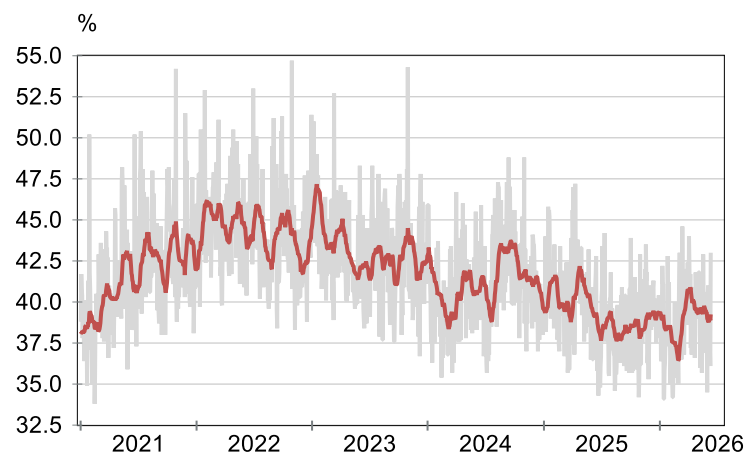
図表6：日経平均株価と裁定買い残

— 日経平均株価 ■ 裁定買い残(右軸)



図表7：日経平均株価と空売り比率

— 空売り比率(20日移動平均) — 空売り比率

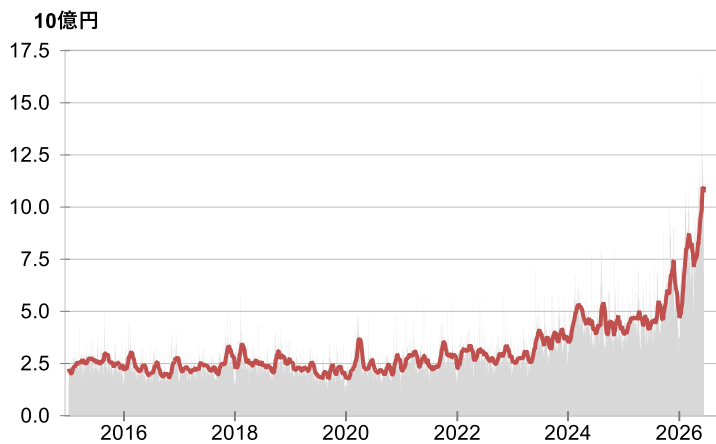


出所：Bloomberg、マクロポンド

出所：Bloomberg、マクロポンド

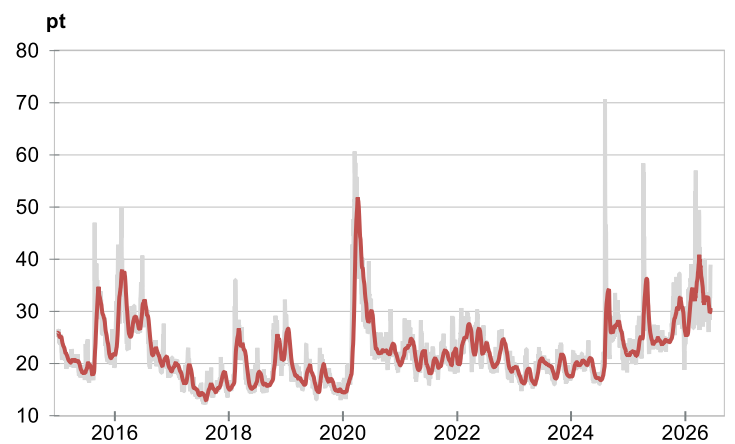
図表8：東証プライム売買代金と日経平均株価

■ 東証プライム売買代金 — 東証プライム売買代金



図表9：日経VIと日経平均株価

— 日経VI — 日経VI(4週平均)

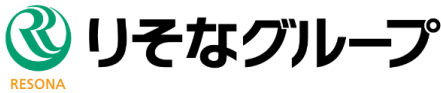


出所：Bloomberg、マクロポンド

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



海外投資家動向:日経平均型の売越し転換に留意

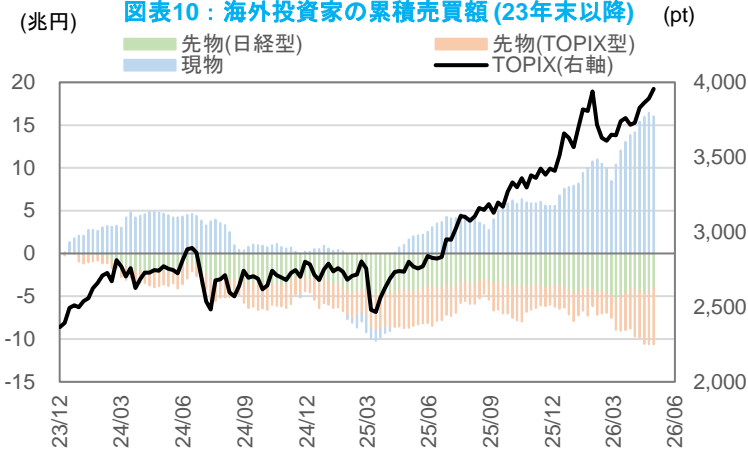
先物主体の短期筋は、TOPIX 型を3月下旬以降一貫して売越ししている。日経平均型についてはまちまちである(図表 1)。プライム市場全体の売買代金が細っているわけではないことから、短期筋は、TOPIX 型を売り越して得た資金でハイテク株を購入しているとみられる(図表 8)。

しかし、こうした動きは長続きしないであろう。日本のハイテク株を代表する半導体製造装置は、米国のハイテク株を代表するファブレス等と比べるとバリュエーションが高い。一方で、非ハイテク企業については、原油高等の悪影響を相対的に受けやすいことは確かだが、それを考慮しても、直近決算は増益見通しの企業の方が多い。従って、今後は TOPIX 型買越し、日経平均型売越しという逆回転が生じる可能性があるだろう。その際は、ハイテク株の調整が指数の上値を抑える可能性に留意したい。また、以上から、内需企業を中心に非ハイテク企業の押し目買いを検討したい。

中長期では、海外投資家の現物買いが継続するか否かが重要だが、この点についての懸念は小さい。現物主体の投資家は、中長期的な視点で日本株に投資している場合が多く、ファンダメンタルズに即して売買するためである。ファンダメンタルズの評価が高まれば、海外投資家の買越し傾向が続き、バリュエーションも改善しよう(図表 10~12)。

TOPIX の EPS と NT 倍率を使って日経平均株価のバリュエーションを判断すると、NT 倍率 16.5 倍の時に、ファンダメンタルズに基づく足元の理論値は 63,500 円~67,500 円程度である(図表 13)。足元の株価はこのレンジ内である。ただし、26 年末までに予想 EPS は足元の水準から 10%~15%程度改善し、妥当レンジは 65,000 円~75,000 円程度まで上方修正される見通しである。従って、65,000 円を下回れば、押し目買いを検討しても良いだろう。

図表 10：海外投資家の累積売買額 (23年末以降) (pt)



出所: QUICK

図表 11：海外投資家売買とTOPIXのリスクプレミアム



出所: QUICK

図表 12: TOPIX の PER 理論値

| | | リスク・プレミアム | | | | | | | |
|--------------------|--------|-----------|--------|--------|--------------|--------|--------|--------|------|
| | | 2.7%pt | 2.9%pt | 3.1%pt | 現状 3.3%pt | 3.5%pt | 3.7%pt | 3.9%pt | |
| 円 10 年 金利 | +40bps | 3.09% | 17.2 | 16.7 | 16.1 | 15.6 | 15.1 | 14.7 | 14.3 |
| | +30bps | 2.99% | 17.5 | 16.9 | 16.4 | 15.9 | 15.4 | 14.9 | 14.5 |
| | +20bps | 2.89% | 17.9 | 17.2 | 16.7 | 16.1 | 15.6 | 15.1 | 14.7 |
| | +10bps | 2.79% | 18.2 | 17.5 | 16.9 | 16.4 | 15.9 | 15.4 | 14.9 |
| | 現状 | 2.69% | 18.5 | 17.9 | 17.2 | 16.7 | 16.1 | 15.6 | 15.1 |
| | -10bps | 2.59% | 18.9 | 18.2 | 17.5 | 16.9 | 16.4 | 15.9 | 15.4 |
| | -20bps | 2.49% | 19.2 | 18.5 | 17.9 | 17.2 | 16.7 | 16.1 | 15.6 |
| | -30bps | 2.39% | 19.6 | 18.9 | 18.2 | 17.5 | 16.9 | 16.4 | 15.9 |
| | -40bps | 2.29% | 20.0 | 19.2 | 18.5 | 17.9 | 17.2 | 16.7 | 16.1 |

出所: Bloomberg

図表 13: 日経平均株価バリュエーションマトリクス

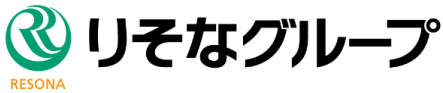
| | | 予想PER(TOPIX) | | | | | | | |
|----------------------|-------|--------------|--------|--------|-------------|--------|--------|--------|--------|
| | | 15.5倍 | 16.0倍 | 16.5倍 | 現状 16.7倍 | 17.0倍 | 17.5倍 | 18.0倍 | |
| 予想 EPS (TOPIX) | 10.0% | 252.9 | 64,700 | 66,800 | 68,800 | 69,500 | 70,900 | 73,000 | 75,100 |
| | 7.0% | 246.0 | 62,900 | 64,900 | 67,000 | 67,600 | 69,000 | 71,000 | 73,100 |
| | 5.0% | 241.4 | 61,700 | 63,700 | 65,700 | 66,400 | 67,700 | 69,700 | 71,700 |
| | 3.0% | 236.8 | 60,600 | 62,500 | 64,500 | 65,100 | 66,400 | 68,400 | 70,300 |
| | 1.0% | 232.2 | 59,400 | 61,300 | 63,200 | 63,800 | 65,100 | 67,000 | 69,000 |
| | 現状 | 229.9 | 58,800 | 60,700 | 62,600 | 63,200 | 64,500 | 66,400 | 68,300 |
| | -1.0% | 227.6 | 58,200 | 60,100 | 62,000 | 62,600 | 63,800 | 65,700 | 67,600 |
| -3.0% | 223.0 | 57,000 | 58,900 | 60,700 | 61,300 | 62,500 | 64,400 | 66,200 | |

出所: Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



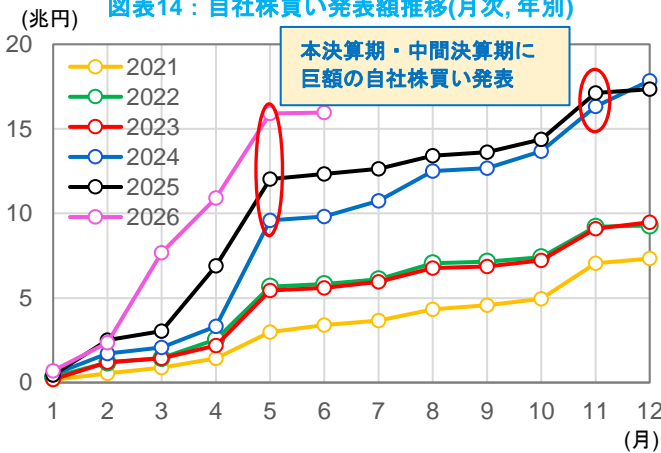
自社株買い動向: 自社株買い余地は 5 兆円程度と推計

26 年の自社株買い発表額は、暦年ベースで過去最高を更新中(図表 14~15)。26 年 5 月末までの累計自社株買い発表額は、前年同月比で約 32% 増加。ただし、一部大手企業による巨額の発表があった点を考慮すると、概ね 24 年、25 年と同程度のペースで発表額は推移しているとみるのが妥当であろう。相対的に規模の小さい企業群にもこの動きが波及するか注目したい。

自社株買い余力(=発表額-実施額)は、5 兆円程度あると推計される。株価下落局面で一定の株価下支えが期待できる(実際、相場が不安定となった 2024 年 9 月や 11 月は、例年になく規模での自社株買いが実施された(図表 16))。

図表 17 は、自社株買いによる EPS 押し上げ効果の試算である。近年、企業の自社株買い実施額が増加傾向にあることから、EPS 押し上げ効果も強まっている。2026 年について、仮に前年と同程度の自社株買いが実施されれば、EPS を 3% 程度押し上げると試算される(株価が上昇しているため、前年と同程度の金額だと効果は減少する)。グローバル経済にインフレが定着しつつあることを踏まえ、中期的なインフレ率を 2% と仮定すると、日本株の EPS は少なくとも年間 5% 程度の押し上げ効果が安定的に見込めることになる。

図表 14: 自社株買い発表額推移(月次, 年別)



出所: QUICK

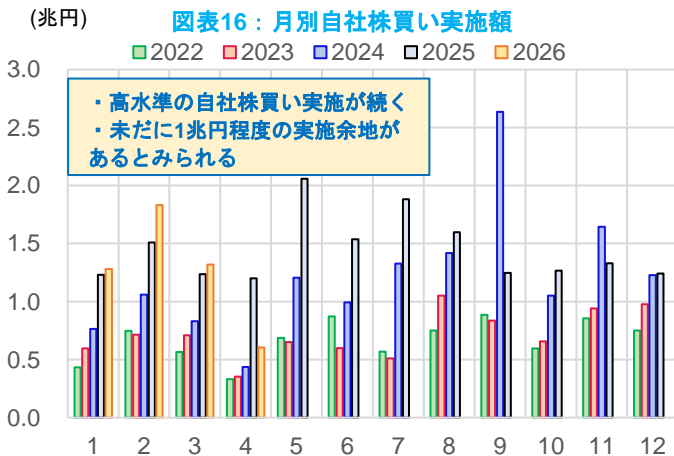
図表 15: 自社株買い余力の推計



出所: QUICK

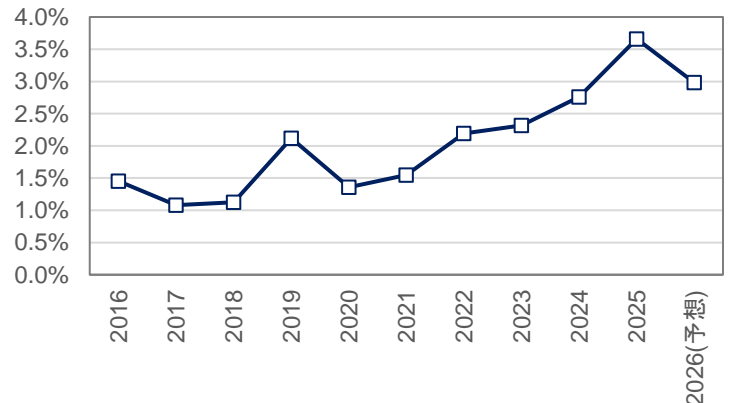
注: 自社株買い余力は、「発表額の 12 ヶ月合計-実施額の 12 ヶ月合計」

図表 16: 月別自社株買い実施額



注: QUICK

図表 17: 自社株買いによる EPS 押し上げ効果

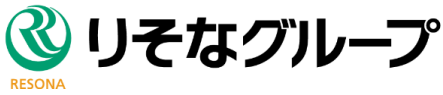


出所: QUICK

◎注意事項

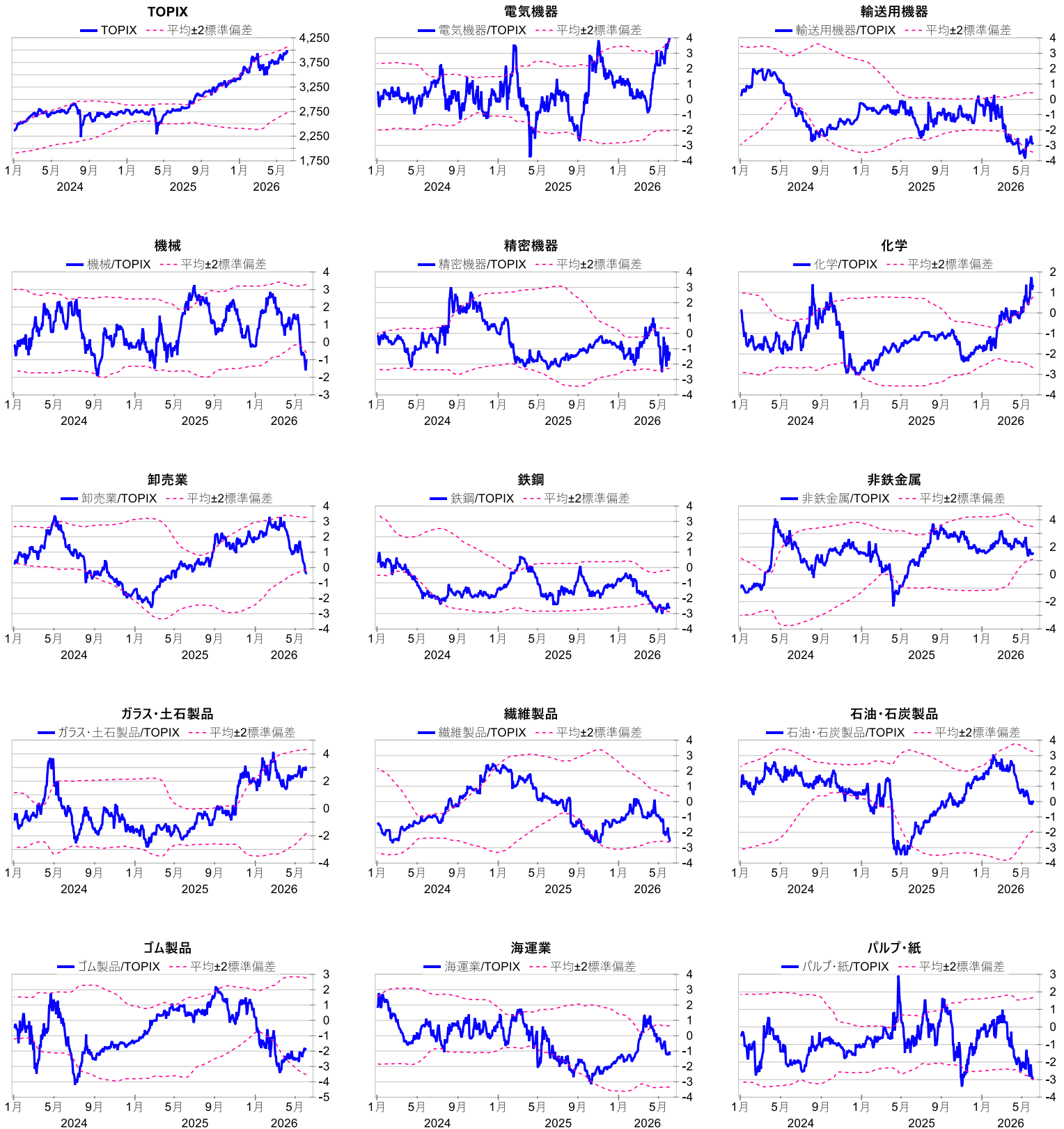
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



株式市場データ集

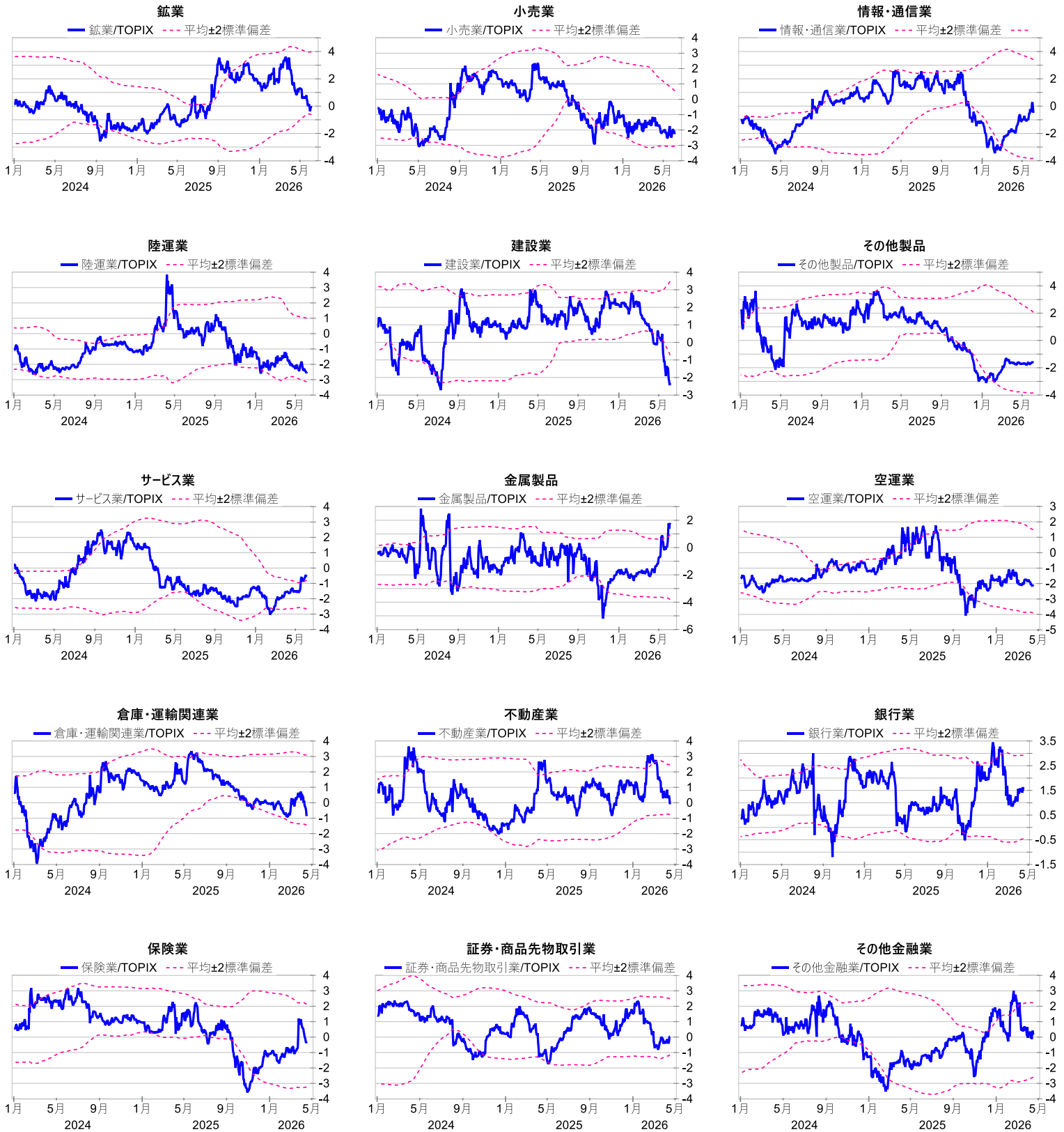
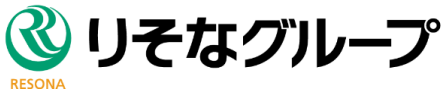
業種別相対株価動向



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



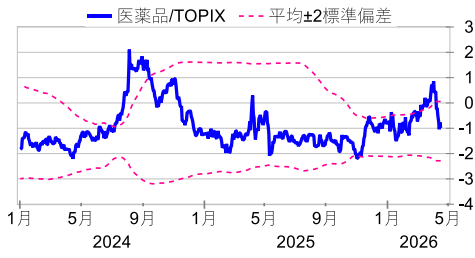
◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

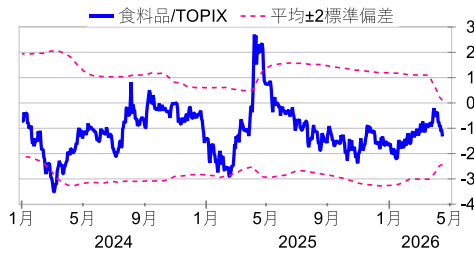
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



医薬品



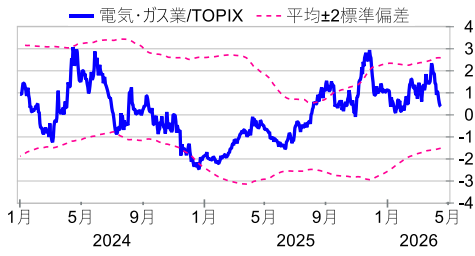
食料品



水産・農林業



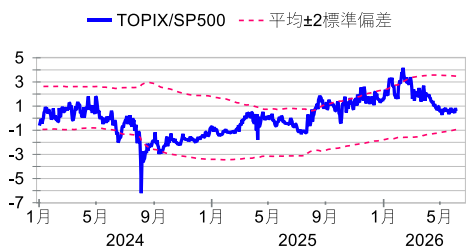
電気・ガス業



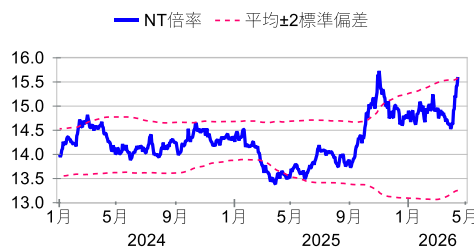
注: 250 営業日のデータを使って標準化した
出所: Bloomberg、マクロポンド

■スタイル別相対株価動向

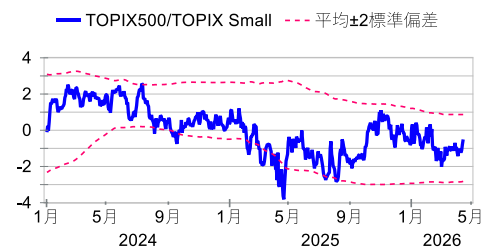
TOPIX/SP500



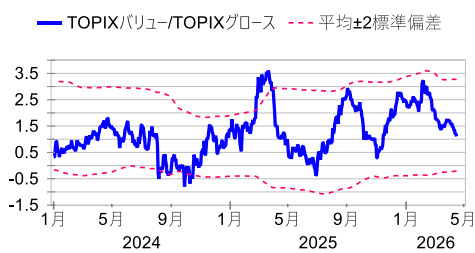
NT倍率



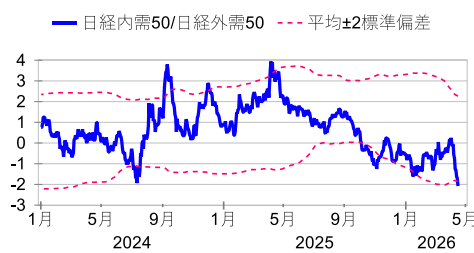
TOPIX500/TOPIX Small



TOPIXバリュ-TOPIXグロース



日経内需50/日経外需50

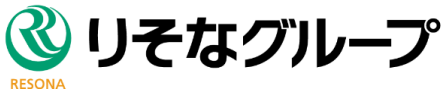


注: 250 営業日のデータを使って標準化した
出所: Bloomberg、マクロポンド

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

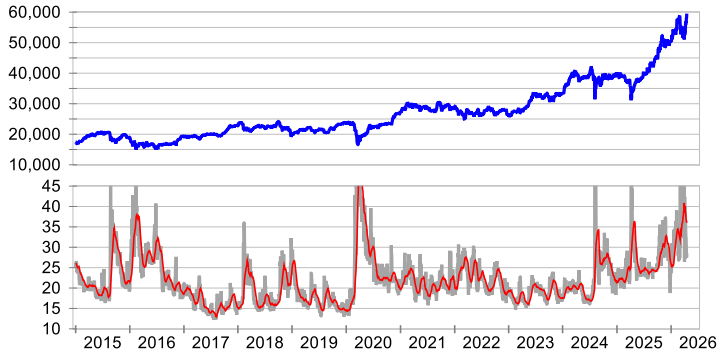
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



■市場センチメント及び株価動向

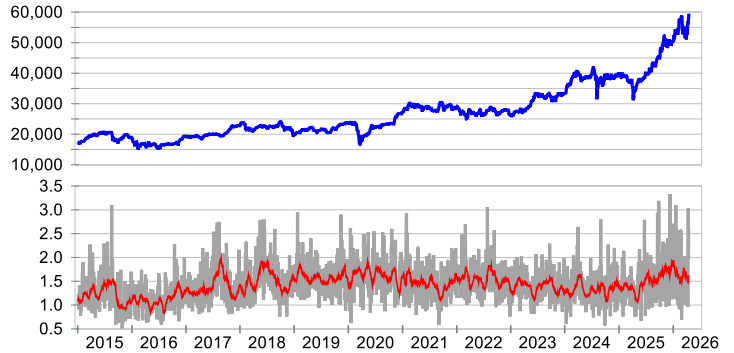
日経VIと日経平均株価

— 日経VI — 日経VI(4週平均) — 日経平均株価



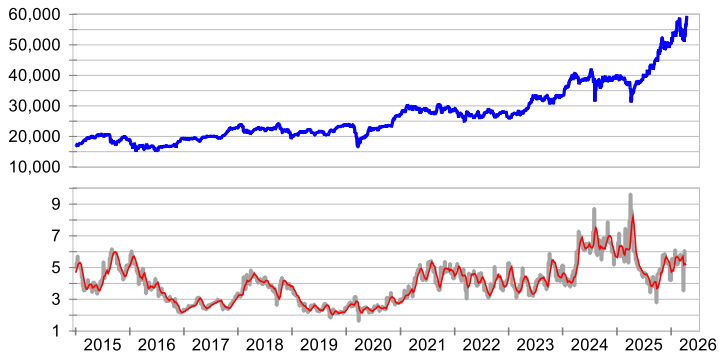
プットコールレシオと日経平均株価

— 日経プットコールレシオ — 日経プットコールレシオ(4週平均) — 日経平均株価



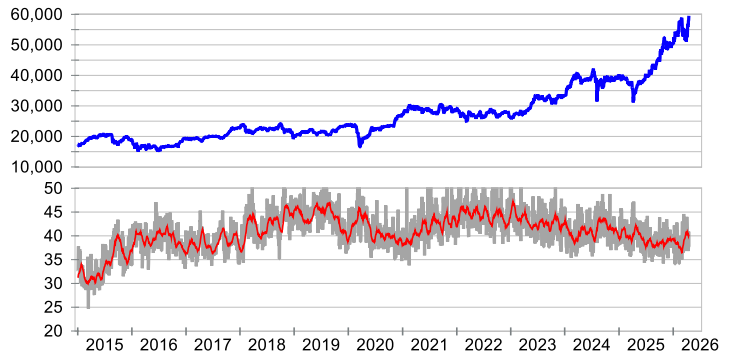
信用倍率と日経平均株価

— 信用倍率 — 信用倍率(4週平均) — 日経平均株価



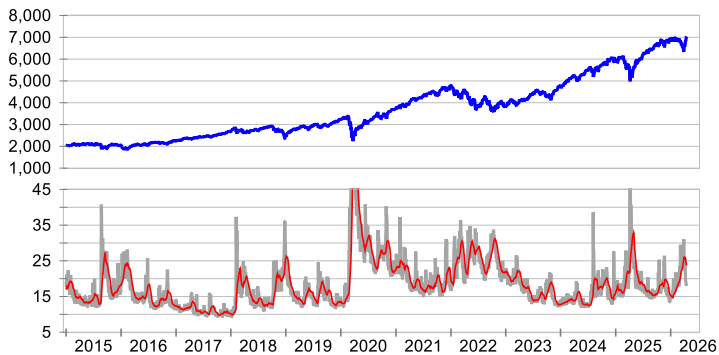
空売り比率と日経平均株価

— 空売り比率 — 空売り比率 — 日経平均株価



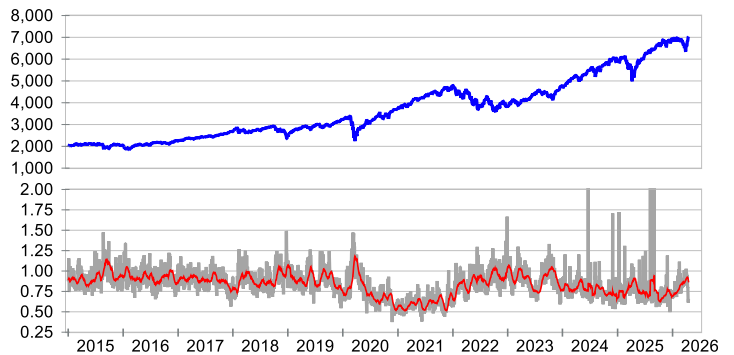
VIX指数とSP500

— VIX指数 — VIX指数(4週平均) — S&P 500種



プットコールレシオとSP500

— プットコールレシオ — プットコールレシオ(4週平均) — S&P 500種

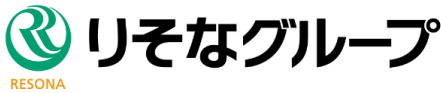


出所: Bloomberg、マクロポンド

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



■バックナンバー(直近発行レポート 50 本)

| No | 発行日 | テーマ | タイトル |
|-----|-----------|---------------|--|
| 324 | 2026/1/19 | 日本株 | 日本株需給(1月5日～1月9日)と Weekly データ集 |
| 325 | 2026/1/23 | 日本株 | 日本株需給(1月13日～1月16日)と Weekly データ集 |
| 326 | 2026/1/29 | 米国経済 | 2026年1月FOMCとマーケット環境の整理 |
| 327 | 2026/1/30 | 日本株 | 日本株需給(1月19日～1月23日)と Weekly データ集 |
| 328 | 2026/2/2 | 欧州経済 | 25年第4四半期ユーロ圏GDP統計 |
| 329 | 2026/2/2 | 日本株 | 日本株2026年1月レビューと2月見通し |
| 330 | 2026/2/5 | 欧州経済 | 26年1月ユーロ圏物価動向 |
| 331 | 2026/2/6 | 日本株 | 日本株需給(1月26日～1月30日)と Weekly データ集 |
| 332 | 2026/2/6 | 米国株, 米国経済 | 2026年2月ISM景況感指数と米国株見通し |
| 333 | 2026/2/6 | 欧州経済 | ECB<欧州中央銀行>理事会 |
| 334 | 2026/2/16 | 日本株 | 日本株需給(2月2日～2月6日)と Weekly データ集 |
| 335 | 2026/2/16 | 半導体, 日本株, 米国株 | 2026年2月半導体市場及びハイテク株動向 |
| 336 | 2026/2/19 | 米国経済 | 2月米インフレ率と消費統計 |
| 337 | 2026/2/20 | 日本株 | 日本株需給(2月9日～2月13日)と Weekly データ集 |
| 338 | 2026/2/24 | 欧州経済 | 25年第4四半期ユーロ圏賃金動向 |
| 339 | 2026/2/26 | 半導体, 米国株 | エヌビディアの決算 FY2026 4Q |
| 340 | 2026/3/2 | 日本株 | 日本株需給(2月16日～2月20日) |
| 341 | 2026/3/2 | 日本株 | 日本株2026年2月レビューと3月見通し |
| 342 | 2026/3/4 | 欧州経済 | 26年2月ユーロ圏物価動向 |
| 343 | 2026/3/4 | 日本株 | 10-12月期決算集計と日本株ストラテジー～日経平均株価は26年末に63,000円へ |
| 344 | 2026/3/6 | 日本株 | 中東情勢の悪化と日本株への影響 |
| 345 | 2026/3/6 | 日本株 | 日本株需給(2月24日～2月27日)と Weekly データ集 |
| 346 | 2026/3/13 | 日本株 | 日本株需給(3月2日～3月6日)と Weekly データ集 |
| 347 | 2026/3/16 | 半導体, 米国株 | 2026年3月半導体市場及びハイテク株動向 |
| 348 | 2026/3/19 | 米国経済 | 2026年3月FOMCとマーケット環境の整理 |
| 349 | 2026/3/23 | 日本株 | 日本株需給(3月9日～3月13日)と Weekly データ集 |
| 350 | 2026/3/27 | 日本株 | 日本株需給(3月16日～3月19日)と Weekly データ集 |
| 351 | 2026/4/1 | 欧州経済 | 26年3月ユーロ圏物価動向 |
| 352 | 2026/4/1 | 日本株 | 日本株3月レビューと4月見通し |
| 353 | 2026/4/3 | 日本株 | 日本株需給(3月23日～3月27日)と Weekly データ集 |
| 354 | 2026/4/10 | 日本株 | 日本株需給(3月30日～4月3日)と Weekly データ集 |
| 355 | 2026/4/14 | 半導体, 米国株 | 2026年4月半導体市場及びハイテク株動向 |
| 356 | 2026/4/17 | 日本株 | 日本株需給(4月6日～4月10日)と Weekly データ集 |
| 357 | 2026/4/24 | 日本株 | 日本株需給(4月13日～4月17日)と Weekly データ集 |
| 358 | 2026/4/30 | 米国経済 | 2026年4月FOMCとマーケット環境の整理 |
| 359 | 2026/5/1 | 欧州経済 | 26年4月ユーロ圏物価動向 |
| 360 | 2026/5/1 | 欧州経済 | 26年第1四半期ユーロ圏GDP統計 |
| 361 | 2026/5/1 | 日本株 | 日本株2026年4月レビューと5月見通し |
| 362 | 2026/5/1 | 欧州経済 | ECB<欧州中央銀行>理事会 |
| 363 | 2026/5/7 | 日本株 | 日本株需給(4月20日～4月24日)と Weekly データ集 |
| 364 | 2026/5/13 | 半導体, 米国株 | 2026年5月半導体市場及びハイテク株動向 |
| 365 | 2026/5/13 | 日本株 | 日本株需給(4月27日～5月1日)と Weekly データ集 |
| 366 | 2026/5/15 | 日本株 | 日本株需給(5月7日～5月8日)と Weekly データ集 |
| 367 | 2026/5/22 | 日本株 | 日本株需給(5月11日～5月15日)と Weekly データ集 |
| 368 | 2026/5/22 | 半導体, 米国株 | エヌビディアの決算 FY2027 1Q |
| 369 | 2026/5/25 | 欧州経済 | 26年第1四半期ユーロ圏賃金動向 |
| 370 | 2026/5/29 | 日本株 | 日本株需給(5月18日～5月22日)と Weekly データ集 |
| 371 | 2026/6/1 | 日本株 | 日本株2026年5月レビューと6月見通し |
| 372 | 2026/6/3 | 日本株 | 1-3月期決算集計と日本株ストラテジー～日経平均株価は26年末に69,000円へ |
| 373 | 2026/6/3 | 欧州経済 | 26年5月ユーロ圏物価動向 |

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。